本来の自己（アイデンティティ）が統一協会的自己へ変化させられ、それが維持される理由

文鮮明のための物売りと献金が自分と世界のすべての人のための救いの条件であることを信じ、実践することを重要な一側面とする統一協会的自己への変化

↑

判断基準・思想・感情・人格の変化

↑

霊魂の存在を信じ、幸せではない霊魂があり、それが現世のことに影響を与えるかも知れないと何となく信じているような人の選別

普通の人の常識・その人本来の自己の変化

恐怖観念の維持、増幅（実践が恐怖を産み、増幅させる）・礼拝（物売りと献金の必要性の教育・ゲキ）への参加強制・アベルの指示、命令（アベルは絶対）・面接・修練会・思考停止・情報の遮断等で思想を維持させる。

物売りを救いのためと受け入れ実践する決定

お茶売り・展示会動員の任務化

万物復帰の意義と価値の講義

新規チケット販売が任務・被害者が加害者に転化

人事された部署の活動と物売りへの動員と伝道・自分で物を買うこと、献金すること、サラ金などから借金しても献金することは当然。夫や親の財産に手をつけることも。

その後の教育が良く浸透せず、活動はあまりしないが、文鮮明をメシアと信じ、因縁と霊界における幸せ固く信じて、家族・親族のために献金等を行う人格

文鮮明をメシアと受け入れる決定

定着経済の実践・親、友達を誘わされる

お茶売りの実習

万物復帰の講義

日本はエバ国家

贖罪の献金・心情解放展

万物への執着を切る講義

主の路程（メシアが文鮮明）

同時性（メシアが現存すると偽りの希望を与える）

鑑定・中級コース受講決定

堕落論（罪人の自覚・救いを希求させる）

霊界こそ真の世界

因縁清算は自己犠牲で

原罪を自覚させる

子宮を汚した女性の罪

妻・母の役割の強調

地獄で脅す

スピリチュアルなどの被害者。問題を抱えいてる時に霊や因縁で脅されると、不安や恐怖でお金を出してしまい、その恐怖が持続している状態の人格

鑑定・初級コース受講決定

因縁清算は自己犠牲で

妻の役割の強調

因縁で脅す

時間軸→

初級コース | 中級コース | 上級トレーニング | 教育隊 | 新規隊 | 各部署で活動 | 脱会

教育内容の詳細は別表・壮婦の教育コースの内容と特徴を参照。

普通の人生を生きる。